

蓄電システム技術と材料開発の最近の動向

太陽光発電、風力発電に代表される自然エネルギーを有効かつ安定的に利用するためには、オンサイトはもちろんのこと系統電力に送電する場合も蓄電システム技術が必須となります。また、地球温暖化対策の一つであるハイブリッド車への応用も大きな期待を集めています。

本講演会では、高エネルギー密度という特徴を生かしながら、ナノマテリアル技術により高パワー密度へ進む電気化学キャパシタの全体動向が明らかとなるようにご講演いただきます。

日時：2008年7月29日(火) 9:55～16:30(受付9:30)

場所：東京大学先端科学技術研究センター 4号館講堂(2階)

地図：<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/maps/index.html>

会費：光機能材料研究会、学生は無料、非会員15,000円(当日現金払い、領収書発行)

協賛：(社)電気化学会キャパシタ技術委員会、東京農工大学科学立国シンポジウム

申込：光機能材料研究会 事務局

〒153-8904 東京都目黒区駒場 4-6-1

東京大学先端科学技術研究センター 橋本研究室内

FAX：03-5452-5084 e-mail：pfma@light.t.u-tokyo.ac.jp

Web：www.light.t.u-tokyo.ac.jp/PFMA

※変更の際はホームページに掲載いたします

プログラム

9:55 開会挨拶

10:00～11:00 基調講演「キャパシタの現状と展望」

東京農工大学 直井勝彦先生

11:05～11:45 「キャパシタ用電解質の開発」

三菱化学(株) 宇恵誠氏

11:50～12:30 「電気二重層キャパシタの瞬時電圧低下補償装置への応用」

(株)明電舎 福田成彦氏

13:30～14:10 「SPB-BF₄ を電解質として用いた電解液の開発」

日本カーリット(株) 千葉一美氏

14:15～14:55 「CNT-キャパシタ」

日本ケミコン(株) 玉光賢次氏

15:00～15:40 「リチウムイオンキャパシタ」

富士重工業(株) 安東信雄氏

15:45～16:25 「光二次電池—光をあてると電気がたまる

蓄電機能付き色素増感太陽電池」 東京大学 瀬川浩司先生

参加申込書

参加資格	光機能材料研究会会員	非会員(¥15,000)	学生
社名			
所属			
氏名			
住所	〒		
電話		FAX	
メール			

FAX 03-5452-5084^W